DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ


**株式会社 第四北越フィナンシャルグループ**

本店所在地 … 〒951-8066
新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
TEL … 025-224-7111(代表)
URL … https://www.dhfg.co.jp/



編集・発行 … 第四北越フィナンシャルグループ 経営企画部
発行年月 … 2021年7月


VEGETABLE OIL INK
このディスクロージャー誌は、
植物油インキで印刷しています。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
第四北越フィナンシャルグループと
TSUBASAアライアンスは、
SDGs宣言を制定しています。

21世紀金融行動原則
第四北越銀行は、
21世紀金融行動原則に署名しています。





# DAISHI HOKUETSU REPORT 2021〈統合報告書〉

（2021年3月期 ディスクロージャー誌 本編）

DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

# Contents


| | | |
|---|---|---|
| トップメッセージ | P. 02 | トップメッセージ |
| 第四北越FGについて | P. 07 | 第四北越FGのあゆみ |
| | P. 09 | 事業エリア |
| | P. 11 | 持続的成長に向けたプロセス |
| | P. 13 | 持続的成長を支えるガバナンス体制 |
| | P. 21 | 中期経営計画 |
| | P. 31 | TSUBASAアライアンス |
| 財務ハイライト・非財務ハイライト | P. 33 | 財務ハイライト |
| | P. 36 | 非財務ハイライト |
| | P. 39 | 地域密着型金融への取り組み |
| 持続可能な社会の実現に向けて | P. 45 | ESGへの取り組み方針・SDGs宣言 |
| | P. 46 | SDGs宣言に基づく主な取り組み |
| 株主の皆さまへ | P. 59 | 情報開示・株主還元・株主優待 |
| ご案内 | P. 61 | 役員・グループ企業一覧 |
| | P. 63 | 店舗のご案内 |


※ 本資料に掲載してある諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。
※ 以下、「第四北越フィナンシャルグループ」を「第四北越FG」「FG」または「当社」と表記する場合があります。

**【 計数の表示方法について 】**

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行および北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しています。本資料における第四北越銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しています。

- 2021年3月期の計数
  2020年4月～12月の第四銀行および北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算
- 2021年3月末の計数
  第四北越銀行の計数
- 2019年3月期、2020年3月期、2019年3月末、2020年3月末（自己資本比率を除く）の計数
  第四銀行および北越銀行の計数を単純合算
- 2019年3月末、2020年3月末（自己資本比率）の計数
  第四銀行および北越銀行のそれぞれの計数


**お問い合わせ先**

株式会社 第四北越フィナンシャルグループ　経営企画部
TEL 025-224-7111（代表）




# トップメッセージ





代表取締役社長
殖栗 道郎

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年1月1日に当社グループ傘下の第四銀行と北越銀行は、新型コロナウイルス禍により多くの制約を受けながらも合併とシステム事務統合を同時に成し遂げ、「第四北越銀行」として順調にスタートさせることができました。現在は、グループ全役職員が「志を一つ」にして「シナジー効果の最大化」に取り組むという新たなステージに進んでいます。

このたび、当社グループへのご理解を一層深めていただくため、DAISHI HOKUETSU REPORT 2021〈統合報告書〉を作成いたしました。地域とともに持続的に成長していくための当社グループの各種取り組みなどを記載しておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

# トップメッセージ

## 新型コロナウイルス感染症への対応

世界的に猛威をふるい続けている新型コロナウイルス感染症につきましては、未だ収束が見通せない状況にあり、新潟県内におきましても、医療や福祉、教育をはじめとした県民生活や企業の経済活動に大変深刻な影響が及んでいます。当社グループでは、これまで最大の警戒感をもって対処してまいりましたが、引き続きステークホルダーの皆さまの健康・安全を第一に、感染防止に努めていくとともに、当社の経営理念に基づき、お客さまへのご支援として、資金面に留まらずあらゆるニーズに多面的にお応えすることにより、新潟県内最大の金融・情報サービスグループとしての役割・使命をグループの総力をあげて果たしてまいる所存です。

## 第一次中期経営計画（2018年10月～2021年3月）の振り返り

2018年10月の当社設立と同時にスタートさせた第一次中期経営計画では、経営統合の最大の目的である「地域への貢献」に向けて、当社の重要経営課題である「地域経済の活性化」「収益力の強化」「経営の効率化」に取り組み、「銀行合併の実現」「組織力の強化」「外部アライアンスの強化」の3点を通じて、シナジー効果を最大限発揮するための経営基盤を強化してまいりました。

当社グループ一体でスピード感を持って取り組んできた結果、第一次中期経営計画の最終年度である2021年3月期は、「地域への貢献に関する評価指標」として掲げる全9項目で目標を上回りました。また、グループ各社のノウハウやネットワークの活用を通じて、成長性を示す経営指標である「中小企業向け貸出平均残高」は2018年3月期比で約10%（約1,700億円）、「消費性貸出平均残高」も約15%（約1,700億円）増加したほか、第四北越証券との証券仲介業務の拡大などから、「非金利収益額」につきましても約15%（約24億円）増加するなど、成果が着実に現れています。

また、地域への貢献に向けた重要施策として、2019年4月に設立した地域商社「ブリッジにいがた」、および2019年10月より事業を開始した人材紹介会社「第四北越キャリアブリッジ」につきましては、お客さまからのニーズが非常に高く、両社ともに業績は順調に推移しています。なお、「ブリッジにいがた」の取り組みは、2021年3月に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部による「令和二年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」の1つとして、約1,200の事例のなかから採択されました。

今後も当社グループ各社の強みを最大限活用し、お客さまのニーズにワンストップでタイムリーかつ最適なサービスをご提供することで、地域の発展に貢献してまいります。

ブリッジにいがた　第四北越キャリアブリッジ

## 第二次中期経営計画（2021年4月～2024年3月）

2021年4月より第二次中期経営計画をスタートさせました。

当社グループを取り巻く経営環境は、少子高齢化を伴う人口減少や金融緩和政策による超低金利環境の長期化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の急速な進展とも相まった新たな異業種との競争激化など、グローバルかつ多面的・加速度的に変化しています。加えて、気候変動の脅威とともに高まっているグリーン社会への希求や、新型コロナウイルス感染症という世界規模の災厄により、社会の価値観が大きく変わることで、いわゆるニューノーマル（新常態）の時代が到来しつつあり、まさに「大変革期」にあります。

このような経営環境のもと、当社グループは、経営理念の実現に向けて持続的に成長していくための重要経営課題を「収益力の強化」「経営の効率化」「健全性の維持・向上」の3点としています。それらの実現に向けて、これまで永年にわたり築き上げてまいりましたステークホルダーの皆さまとの「信頼関係」を礎に、3つのシナジー、①ノウハウの共有や重複機能の整理、経営資源の再配分により収益力の向上とコスト削減を実現する「合併シナジー」、②当社グループ各社が持つあらゆるサービスをワンストップかつ最適な形でご提供する「グループシナジー」、そして③規模のメリットと情報連携の優位性を活用した「TSUBASA連携シナジー」を最大限発揮していきます。



## TSUBASAアライアンス

TSUBASAアライアンスは、全国の有力な地方銀行10行で構成する、地方銀行最大のアライアンスです。2021年3月期に琉球銀行、群馬銀行が新たに加わり、北海道から沖縄県、日本海側から太平洋側を結ぶ、日本列島を縦断・横断するネットワークが構築されました。

2020年7月には参加行に共通する業務や機能を集約するためのプラットフォームとしての役割を担う「TSUBASAアライアンス株式会社」を共同出資会社として設立し、同年10月には、不正口座取引の防止など、リスク管理態勢の高度化を共同で進める「アンチマネーローンダリングセンター（AMLセンター）」を開設するなど、連携の領域がさらに拡大しています。

TSUBASA ALLIANCE

# トップメッセージ



第二次中期経営計画におきましても、TSUBASAアライアンスを「イノベーション加速のメインエンジン」と位置づけ、DXを含むあらゆる分野において、一層多面的・重層的に連携を強化していく方針です。

## サステナビリティ（持続可能性）への取り組み

ESG・SDGsが広く浸透するなか、持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素をはじめとした気候変動対策を含むサステナビリティを重視する取り組みが国内外で加速しています。

当社グループは、「ESGへの取り組み方針」や「SDGs宣言」に基づき、環境問題や次世代育成支援、新型コロナウイルス禍で影響を受けている世帯への食品支援など、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決に向けて積極的に取り組んでまいりました。

また、2021年5月には、経営理念の実践と中期経営計画の実現に向けた基盤となるサステナビリティの取り組みを更に強化するため、私を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。環境や社会の課題解決と経営戦略がより一層整合的となる事業運営を、グループ一体で推進してまいります。

なお、2021年4月に気候変動によってもたらされる企業の財務的影響について適切な情報開示を求める「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明いたしました。今後、気候変動に関する「リスク」や「機会」などの分析を進め、提言に沿った積極的な情報開示を行っていく方針です。

## 質の高いガバナンス態勢の構築

取締役会の透明性・健全性・多様性の更なる向上、および中長期的な企業価値の向上を目的に、コーポレートガバナンス体制の一層の強化を図るため、2021年6月に独立社外取締役を1名増員し、当社の取締役会に占める独立社外取締役の割合を3分の1以上としました。社外取締役からは、企業経営、経営理論、財務会計、法律、地域行政などの多岐にわたる分野での見識を活かした有益な提言・助言を得ています。

また、取締役会の多様性（ダイバーシティ）の更なる確保に向けて、女性役員の登用が重要な課題であると認識しており、早期登用に向けた人材育成に積極的に取り組んでいます。その一環として、第四北越銀行では、全管理職（本部調査役・支店長代理以上）に占める女性の割合を25%以上とする目標を掲げており、2021年3月末現在で女性支店長20名を含む管理職比率は24.4%となっています。



引き続き、コンプライアンス態勢の強化とともに、コーポレートガバナンス・コードの趣旨に基づいた質の高いガバナンス態勢の構築に努めてまいります。

## グループ全役職員が志を一つに。「一志団結」

当社グループでは、第二次中期経営計画において“一志団結”を合言葉に掲げました。経営理念の実現に向けて、グループ全役職員が「志を一つ」に、まさに“一丸”となって取り組むことで、地域への永続的な貢献を果たしてまいる所存です。

第四北越フィナンシャルグループの今後の活動に是非ともご期待いただくとともに、引き続きの変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一志団結 志をひとつに

2021年7月

# 第四北越FGのあゆみ

百四十有余年にわたり築きあげてきたお客さまとの信頼関係

## 第四銀行

### 1873
**第四国立銀行創立**



日本で3番目の国立銀行として現在の新潟市に誕生

### 1878
**第六十九国立銀行創業**



戊辰戦争後、経済復興のために現在の長岡市に誕生

### 1896
**長岡銀行創業**



石油産業の活況や鉄道会社の設立など、経済の振興に伴い、現在の長岡市に誕生

### 1917
**第四銀行に商号変更**



1896年商号を「新潟銀行」としたが、依然、お客さまから「だいし」と親しまれており、「第四銀行」に商号変更

### 1928
**3代目本店を竣工**



古代ギリシャ建築様式を用いた石造りの建物

### 1942
**長岡六十九銀行設立**



六十九銀行と長岡銀行が合併し、誕生

### 1948
**北越銀行に商号変更**

### 1965
**本店建て替え**



旧本店の「赤煉瓦」に対して、新本店は「白大理石」と対照的な造り

### 1973
**東京証券取引所第二部上場**

**東京証券取引所第一部上場**

### 1975
**東京証券取引所第一部に指定替え**

### 1992
**現本店完成**



機能や施設面の充実・整備のため、増改築し、現在の5代目本店を竣工

1873 1878 1896 1917 1928 1942 1948 1965 1973 1975 1992 2018 2021

全国に先駆けた同一県内のシェア1位、2位の地銀による経営統合

### 2018.10
**第四北越フィナンシャルグループ設立**

DAISHI HOKUETSU Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

プロフィール（2021年6月25日現在）

**本店所在地**
新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
**設立**
2018年（平成30年）10月1日
**資本金**
300億円
**上場証券取引所**
東京証券取引所（証券コード：7327）



### 2021.1 New!
**第四北越銀行誕生**

第四北越銀行
DAISHI HOKUETSU BANK

プロフィール（2021年6月25日現在）

**本店所在地**　新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
**創立**
1873年（明治6年）11月2日
**資本金**
327億円
**店舗数**
206店舗・駐在員事務所1カ所（上海）
新潟県内 192店舗
（うち出張所5カ所、仮想店舗3店舗）
新潟県外 14店舗




## 第四北越FGのコーポレートマーク・カラー

### コーポレートマーク

DAISHI HOKUETSU Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

「新潟県」の地形をモチーフとして、大地を豊穣な稲穂の実りの「**黄金色（こがねいろ）**」、その大地を潤す河川と世界へ広がる雄大な日本海をコーポレートカラーである「**紺碧色（こんぺきいろ）**」で表現。

マークの中の楕円形は、新潟の島々と稲穂をイメージしデザイン化。

上昇する2本のラインにより、両行が1つの大きなうねりとなり、未来に向けて変化に果敢に挑戦し、地域へ貢献し続けていくことを表現。

### コーポレートカラー

紺碧色（こんぺきいろ）

「信頼」「誠実」「未来志向」などを想起させる青系色のなかでも、濃く美しい青。

新潟県に面する雄大な日本海や豊穣な大地を潤し日本海へ注ぐ信濃川や阿賀野川に代表される河川、更には広く深く澄み渡る青空をイメージ。新しい金融グループが地域からの信頼を得ながら、未来に向けて持続的に成長していく姿を表現。

## 第四北越FGのグループ企業

DAISHI HOKUETSU Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

- 第四北越銀行
- 第四北越証券
- 第四北越キャリアブリッジ

- 第四信用保証
- 北越信用保証
- だいし経営コンサルティング
- ホクギン経済研究所
- 第四リース
- 北越リース
- 第四コンピューターサービス
- 第四ジェーシービーカード
- 第四ディーシーカード
- 北越カード